

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.51

発行日 2004年9月21日
 発行者 NICE 沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町16番1号
 (事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
 ☎055-934-4717



緑の湖の街 カラマズー



ブルーベリーを 堪能した10日間



姉妹都市訪問特集 7月17日~7月26日

カラマズー部会

草の根交流・ホームステイ

カラマズー訪問記

伊藤 厚

私はそもそも沼津国際交流協会という組織があることも、沼津市がもう41年もカラマズー市と姉妹交流を続けているということも、まったく知りませんでした。たまたま沼津の広報誌で外国人に沼津を紹介するための勉強会とかがあるという記事が出ていたのでそれに参加して、初めてその存在を知りました。そしてその中で今年の交流団派遣を知り、年甲斐もなく参加させていただくことにしたわけです。



さて7月17日一般13名、高校生10名と2名の先生を含め中村団長のもと総勢25名の訪問団が沼津駅北のターミナルから専用バスで成田にむけて出発しました。約11時間のフライトでデトロイト経由カラマズーへ同日の16時に到着しました。空港にはホストファミリーが大勢で迎えてくれ大歓迎を受け、大感激でした。私のホストファミリーは都合でこられないとかで私はこれも都合でこられないという高校生の久保田さんと中村団長のホストファミリーで会長のボブさんの所に一時お邪魔することになりました。ボブさんのところではカラマズー市の歴史など教えてもらいその後みんなで野外コンサートに行きました。9時過ぎにコンサートが終わりボブさんに送ってもらって私のホストファミリー宅に到着です。

ホストのポールさんとディーさんはお二人で暮らしておられます。家の中を案内してもらい、

私の部屋、バス、トイレ等教えていただきました。いよいよホームステイのはじまりです。

18日は日曜日で訪問団は各自のホームステイ先で過ごしました。わたしはポールとディーさんにマイヤーガーデンという自然博物館に連れて行ってもらいました。そこでは自然の中にさまざまな彫刻が立っていました。中でも巨大な馬の彫刻は圧巻でした。夕食はステーキで大変おいしくいただきましたが、量的には私にはやや多めかなと思いました。ご夫妻はいつもいつも「おいしかったか」「十分食べたか」と気遣ってくれました。そのおかげでこのホームステイを通じて「It was delicious」「I am enough」「I am full」だけはスムーズにいえるようになりました。

土、日以外のホームステイ中の日程は毎日市役所前8時半もしくは9時に集合して、みんなでいろいろなところの見学です。

ホームステイ中たくさんの方に案内していただきました。その一部分を報告させていただきます。

いよいよ19日から見学の開始です。それぞれのファミリーに送ってもらって8時30分市役所前集合です。私もポールさんに送ってもらって出掛けました。

今日はエアズーの観光です。エアズーは飛行機のミュージアムで、そこには第2次世界大戦のときに使われた戦闘機がたくさん展示されていました。実際に戦闘機に乗っていたという方の案内で館内を回りました。そこでは立体的に見えるメガネを借りて、戦闘機が実際に飛んでいるような迫力満点の映画も見せてもらいました。また、団長の中村さんと、一緒に行った岡山さんと3人でしばし子供にかえって遊園地エリアの飛行機乗りなど楽しみました。私は受付の上にあった横断幕に「Freedom is not free」と書いてある意味が気になったので係の方に聞いてみました。係の方は今まで自由の名の下に多くの人命が失われた。その反省の意味を込めてこれを掲げているんだと教えてくれました。(たぶん、そういつていたと思います。何しろ私の英語のヒヤリングですから断言は出来ませんが……) いずれにしても私なりになるほどと納得しました。

カラマズー部会

20日は7時からフェザーセンターで夕食をとりながらの歓迎パーティーです。ポール、ディー夫妻と出席しました。私は背広にネクタイです。私の食事はあらかじめ日本で3種類のうちから選んだ野菜中心の食事内容です。丸テーブルには私たち以外に高校生のホストファミリーと女子高校生2人、それにウエスタンミシガン大学に沼津から留学している植松さんというかわいい女の子が加わり8名が座りました。ボブ会長のユーモア溢れる（皆さんが笑っていたので多分そうだったのでしょう）お話があり、また市同士のプレゼントの交換等充実した楽しい催しでした。



22日アーミッシュファームへ大型バスで市役所前から出発です。ただし出発に先立って大変な発表がありました。中村団長が転んで骨折したというのです。そのため今後の旅行の同行は不可能ということでした。これには一同大変驚きました心配しました。結局団長は26日一足先に帰国ということになりました。後の話ですが怪我については経過もよく帰国時には沼津駅まで出迎えてくれました。安心しました。

それはともかく、アーミッシュファームは隣のインディアナ州にありバスで1時間半、時差が1時間のところ。アーミッシュの人たちは100年前の生活様式をそのまま続けているということで、電気もなければ、テレビもましてやコンピューターなどという文明の利器は一切ありません。すべて農業と牧畜によって生計を立てているようです。ここで昼食を食べましたがここの食事はまったく絶品でした。品数も多く、その一つ一つがすべておいしいのです。また後から後から食事が出てきてみんながもう食べられないのでそのまま返すようになってやっと終

わりになりました。このやり方にもびっくり仰天でした。



23日は野球見物です。5時過ぎポール、ディー夫妻とメイヤーズリバーフロントパークへ。われわれは帽子をもらってカラマズーキングスの応援です。試合はわれわれの応援が功を奏して(?) 4対1でキングスの勝利。私はポールに連れてってもらって外野手の一人に帽子にサインをもらうことが出来ました。その後花火を楽しみ家路に着いたのでした。

24日は朝9時過ぎにボブさんが迎えにきてくれました。今日はボブさんの別荘で夕食をご馳走になることになっています。途中岡山さんとリン奥様をピックアップ、ミシガン湖のバーバラ、テリーさん夫妻のバンガローにより、別荘に向かいました。ここではボブさん夫妻、娘さん夫妻、お婿さんの友人、ゴードンさん夫妻（久保田さんのホストファミリー）、高校生の久保田さん、野中さん、カラマズーで会社の責任者をされているという日本人のご夫妻、それに岡山さんと私という13名のにぎやかな夕食の一時を過ごしました。娘さんのご主人のグレッグさんは今一時かえってきているけれども、まもなくイラクへ行かなければならないそうで、リン奥様はとても心配していました。なんとしても一日も早く平和な世界が戻ってきてほしいものです。いずれにしても楽しい夕べを過ごし再びボブさんに送ってもらってかえりました。

帰ってみるとポールさんが今ディーさんのお友達が来ているので挨拶をするようにといて私を地下の部屋に連れて行きました。そこではディーさんのお友達の二組の夫婦がいてワインを飲みながら歓談していました。わたしは得意の(???) 英語を駆使して30分ほどお話をし、皆

カラマズー部会

さんの写真を撮り失礼して部屋に帰りました。

25日はいよいよお別れのポットラックパーティーです。デルトン湖の畔のイルズマさんのお宅に椅子と少しずつの食事を持参してお別れパーティーです。私たちは船に乗せてもらって湖を一周しすばらしい景色を堪能しました。高校生たち何人かは水遊びを楽しんでいました。戸田さんの息子さんがバイオリンを弾いてくれました。高校の田中先生のお礼のスピーチはユーモア溢れるものであった(らしく)大うけでした。



中村団長もこの日は車椅子で見て一言ご挨拶をされました。かくしてカラマズーのすばらしい日々は終幕となったのです。本当にカラマズーの人たちにはお世話になりました。特に私のホストファミリーになってくれたポールとデューご夫妻には毎日毎日心からのもてなしをいただきました。心休まる暇もなかったと思います。感謝の言葉もありません。心からお礼を申し上げます。

沼津とカラマズーとの市民の交流は最高にすばらしいことだと思います。こういう市民の交流の広がりこそ世界平和にとって一番大切なことではないかと思います。これからもこの市民の交流の流れが太く、長く続いていくことを祈ってやみません。



体当たりホームステイ

田中 藤子

生まれて初めてのホームステイを経験しました。カラマズー市と沼津市が姉妹都市提携して41年、今年は沼津市側が訪問する年でした。

我が家では過去3回、カラマズーの方のホストをさせていただきましたが、今まで訪問する機会に恵まれず、今年、やっと実現しました。私の人生において記念すべき素晴らしい夏を体験しました。幸運にも二つの家庭にステイすることが出来、より多くのカラマズーの人々の生活を知ることが出来たと思っています。前半はイルスマ宅、後半はバーバラ宅で過ごし、シェアした方々とも楽しくそれぞれのファミリーとの体験が出来ました。共に我が家にステイされた方のお宅です。



広大な土地に沢山の緑、海のように広いミシガン湖、ほとんどの家庭が所有しているというモーターボート、キャンピングカー、レイクハウス。生まれて初めてモーターボートも運転しました。見るものすべて、そのスケールの大きさに驚くばかりでした。

前半のイルスマ宅では湖畔のレイクハウスにステイしました。夏の間はそこで過ごし、他の時期はダウンタウンの住宅で生活しているとのことです。私たちに提供された部屋の目の前は湖で毎日のサンライズ、サンセットは見事な眺めでした。日曜日にはイルスマさんのお孫さんの誕生パーティーを公園でやりました。前夜はそのためのプレゼントのラッピングを手伝いました。パーティーには息子さん、お嫁さん、3人の子供に私たちが加わり、9人でにぎやかなパーティーになりました。3歳のドン君は我々にWhat's your name?と何回も聞き、私が答える

カラマズー部会

と、Fujiko?と確認してきました。その発音のきれいなことに驚きました。バースデーケーキはママの手作りでした。夕食後はモーターボートに乗ってサンセットクルーズです。初めてボートの運転も体験しました。湖面を照らす夕日の余りにも美しい光景はいつまでも忘れることはないでしょう。

後半はかつて我が家に2回ステイしたことのあるバーバラ宅でした。彼らは二人暮らしで、バーバラさんは市職員で毎日、我々訪問団と共に行動してくれました。ご主人のテリーさんも大変協力をしてくれました。二人とも非常にユニークで楽しく、よく笑いました。週末はミシガン湖へ行き、キャンピングカーに1泊しました。車内はベッド、キッチンなどすべて揃っていました。翌日はモーターボートでミシガン湖を快調に走り、ここでも運転をしました。湖に沈む夕日の美しさはこの世のものとは思えないほどで、つい何枚も写真を撮りました。

私たちは毎日、市役所前に集合し準備していただいた多くのスケジュールを楽しみました。エアーズー観光、議会見学、地元の高校訪問など。インジアナ地方のアーミッシュファームでは有名なキルトに出会い、思い出に残る品を買いました。どこも印象深いところでしたが、最も感動し、釘付けになったのはパブリック病院のブロンソン病院でした。広大な敷地に5階建ての立派な病院で、2機のヘリコプターが待機しているのには驚きました。広い院内はとても機能的に作られており特に小児科、産婦人科病棟では壁の色使いなどが工夫されていました。また1階待合室は多くの観葉植物などが植樹されていて患者サイドに立った気遣いが感じられました。言い換えると、ここは病院ではなく、これはホテルである、と思いました。こんな病院が日本に、いや沼津にあってくれたら直ぐにでも予約しておきたい気持ちです。

9日間のホームステイを無事終え、見送りに来ていただいた多くの方々と熱いハグを交わし、そして来年また沼津で会おうと約束をして別れました。

大げさですが、9日間で本物のアメリカを体験できたような気持ちです。そして次から次に来るメールや手紙に、それぞれ別の国ですがお付き合いしてみると皆同じであるような気になってきます。素晴らしいホームステイでした。

国際理解教育部会

お国紹介講座・アメリカ編

今年度の第一回国際交流サロン「お国紹介講座」はアメリカ合衆国出身のビンセント・フーバーさんを講師にお迎えし、「アメリカ合衆国のお国紹介」ということで7月4日に沼津市立図書館において開催されました。ちょうどその日はアメリカ合衆国の独立記念日にあたるということで、日本人にはあまり馴染みのない独立記念日の過ごし方やアメリカ合衆国の歴史についてお話いただきました。

講演は二部に分かれ、第一部では独立記念日や歴史を、また第二部ではアメリカのさまざまな地域についての紹介でした。一部、二部を通してPCで作成した資料や映像をふんだんにとりまぜてお話していただいたので、とてもわかりやすく聞くことができました。

独立記念日にアメリカの子供たちが飲む「ルートビール」という飲み物は日本では見たこともなく、聴衆の方からも子供が飲むビールというのはどういうものなのかと質問が出ていましたが、ノンアルコール飲料でソーダー水のようなものだそうです。さらに星条旗の話や議会の話もとても興味深く聞くことができました。また日本人が歴史上重要だと思っている事件がアメリカ人にとってはそうでもなかったり、ジョニー・アップルシードやルイス兄弟（探検家）等、日本ではほとんど知られていない人がアメリカではとても有名だったりするのも意外な発見でした。

第二部ではアメリカバーチャルツアーということでアメリカ合衆国を細かな地域に分けて、地図や写真を見ながら各地域ごとの特色を説明してくれました。聴衆の方も自分が行ったことのある場所の話になると目を輝かせて聞いていました。

アメリカ合衆国は私たち日本人には身近な国でとても親しみを感じますが、今回は少し変わった視点からお話いただくことで新たな発見が出来た「お国紹介」でした。



岳陽部会

岳陽部会

活動アラカルト

第1回中国料理教室開催

NICE岳陽部会会員である中国天津出身の陳浩さんを講師に迎えました。いつでもすぐに手に入る食材を使い夏にはもってこいの料理、その上簡単！参加された方々は一つでもレポーターをと一生懸命に取り組んでいました。出来上がって「いただきま〜す。」お粥はさっぱりして、春餅は中国風クレープ？手巻き寿司？子供が喜びそう。共に**很好吃**！

1. 緑豆粥（緑豆のお粥）

中国では夏冷やして暑気払いとして食用されます。胃にやさしい。

2. 京醬肉糸（豚肉の甘味噌炒め）

豚肉を炒め、甜面醬で味付けしたもの。これは他の料理にも活用出来そうです。

3. 春餅和菜（中華風クレープ）

ご飯代わりになります。中国では春分の時に食べるそうです。春餅は小麦粉で餃子の皮の大きいものを作り、焼く、手間がかかりますが覚えると得です。いろいろな野菜、卵と京醬肉糸を春餅に自由に包み込み（手巻き寿司の要領で）食べます。

今回は中国語の料理用語のプリントも配布されました。お店に行った時に参考になるかと思えます。レシピは事務局にありますので、チャレンジする方はどうぞ！！

（中国料理教室スタッフ 坂井和子）



春餅の作り方を披露する陳浩さん

中国講座が閉講しました

2004年、沼津国際交流協会主催の中国語講座は4月15日(木)より7月29日(木)までの15回、沼津市民文化センター会議室で4ヶ月にわたって行なわれました。

講師を務めていただいた先生方は

初級Aクラス 河合穎先生

初級Bクラス 熊谷虹先生

中級クラス 林愛萍先生



授業は丁寧でわかりやすく、時には中国の人たちの生活の様子なども紹介していただき楽しい授業でした。受講生は高校生、サラリーマン、ご年配の方々まで幅広く、また熱心に勉強されていました。15回の講座すべて皆勤で皆勤賞を授与された方は13名、惜しくも皆勤賞を逃した方々も多数おられました。

これからも中国語の勉強を続けてください。

祝你学习进步！

（中級講座スタッフ 芹澤荘吉）

9/1(木)～11/29(月)岳陽市から教育研修生として、陳鈺さん（湖南理工学院外事弁公室勤務）と周正さん（岳陽市第八中学校外事弁公室勤務）の2名が来沼し、沼津市立高校で研修します。以下のイベントを予定していますので、参加希望者は事務局へお申込ください。

◎バーベキュー交流会

10/3(日) 9:30～15:00 千本浜 ¥1,000

◎友好都市岳陽講座 沼津市立高校視聴覚室

10/20, 10/27, 11/10, 11/17(木) 19:00～20:30

参加費無料 受付開始：9/28(火)から

◎第2回中国料理教室

10/31(日)10:30～15:00 第1地区センター

湖南料理 参加費 ¥2,000

留学生からのメール



矢部龍樹です。お久しぶりで
す。お元気ですか？ 長い間連
絡をせずに申し訳ありませんで
した。連絡をしなければと思い
ながらも結局今に至ってしま
いました。今年の日本は相当暑い
そうですが、みなさん、お変わりありませんか？
こちらに来て早いものでもう4ヶ月が経ってし
まいました。生活の方は流石に慣れました。食
べ物も順応し問題ありません。7月から夏休
みに入り、毎日暑いせいか、最近ちょっとダラ
ける事が唯一の問題です(笑)。まさか、大学を
卒業して23歳にもなってこんなに長い夏休
みをまた体験できるとは思いませんでした。さて、
肝心の語学の方ですが、前述の通り最近
は立ち止まったままです。まあ、少しづつ
ではありますが、聞き取りも上達して
る……はず？です。しかし、方言で話
されるとサッパリです。

先日、中国人の友達に誘われて、彼の故郷
の株洲へ行ってきました。彼の家族はかなり裕
福な家庭で、自家用車で毛沢東の故郷韶山に
連れて行ってもらいました。中国初の旅でと
ても楽しかったです(彼の家族の普通話
はとても聞き取りにくかったです)。最近の
出来事といえば、明日(8月1日)から部
屋の改修が始まるので、自分達日本人留
学生は陳さんが手配して下さったホテルに
引っ越すことになります。大体20日間の
予定……らしいですが。まあ、予定変
更の心の準備は肝要でしょう。それと、
出発前にお世話になりました国際交流協
会の皆様にも宜しくお伝え下さい。今
年は岳陽も沼津も暑さでは“差不多”
ですね。お体の方重々気をつけてお仕
事ががんばってください。それではまた。

湖南理工学院 日本人留学生
矢部龍樹



最後の授業。中央浴衣姿が増田さんその右
側が堀米さん。湖南理工學院の留学生たち
と共に日本の歌を歌って…

日本語教師 堀込さん 帰国 増田さん

第八中学校で私達が教えた学生はみな日本語
が初めてだったので、授業はどのクラスも五十
音や簡単なあいさつから始めました。教科書以
外の内容を豊富に取り入れ、もちろん沼津に関
連のある資料も持参して紹介しました。これは
結構好評で、日本文化に興味を持ってくれる学
生が増えたようです。

覚悟はしていたものの、日中の職場環境の違
いから学校側と思うように意思疎通が出来ず大
変でした。でも本気で日本語を学習したいとい
う学生が出てきたり、学生と一緒に遊んだり、
先生ならではの楽しみを味わうことができました。

私達の岳陽滞在により「友好都市沼津」の知
名度が上がってくれることを願っています。

(日本語教師 堀米温子)

3月26日突然授業が終わると知らされた増
田さんが生徒宛に綴った手紙の抜粋(学校側の
決定が二転三転、結果授業は継続。この手紙は
生徒に渡されることはなかった。)

第八中学校中学2年生の生徒たちへ

途中で授業が終わってしまい、皆さんに日
本語の授業の中で日本の習慣・文化を伝え切
れなかった事を、悔やんでいます。この事は、
目的の一つだった為、どうしてもやり遂げたい
事でした。皆さんと早く日本語で会話をした
く、今まで頑張ってきました。そして、皆
さんには日本の文化を通して視野を広げて欲
しかったのも本心です。(中略)これから日
本語に触れる機会があったとしたら、今
まで皆さんの日本語教師だった増田先生を
思い出してください。そして皆さんに伝え
きれなかった今の日本を、周りの友達と一
緒に考えてみてください。(中略)数年
後、見違えるような皆さんのうちの誰か
に会える日を夢見ています。(後略)

(日本語教師 増田美穂)



ふれあい部会

夏まつりで国際交流を

毎年恒例の沼津夏まつりで、7月31日(土)に盛大に行われた、“沼津四季彩々”に沼津国際交流も参加しました。

♪「1月睦月の日本晴れ、めでたき初日の香貫山、輝く明日を予感する」から始まり12月の「師走の晦(つごもり)三の浦、夜更けて数える除夜の鐘、しんしん静かに海がなく」♪

外国の方々が簡単に踊れるように、基本の振り付けをアレンジし、練習に練習を重ね本番に臨みました。

8番目の出場！ 幼児や小学生の可愛い手、大人の後ろでチョコチョコ、なんとも可愛い！

忙しくて練習が出来ず本番を迎えた方々も見よう見まねで踊り、沿道の人達から「綺麗だね～、上手だよ～」等と声をかけられ、ニコニコ。民族衣装も板に付き、練習成果を発揮していました。

「はい・チーズ！」総勢50有余人、ファインダーからはみ出すほどの笑顔・笑顔。

16カ国にも及ぶさまざまな民族衣装や手作り衣装がとても華やかで、ひときわ沿道の人達の脚光を浴びました。

懇親会では、会員手作りの料理に舌鼓を打ちながら、スタッフの「今日は楽しかったですか～？」の声に「おーっ！」「来年もまたやりたいですか～？」「オーっ！」と一同声をそろえて盛り上がりました。

最後に縁の下の力持ち、事務局の栗原さんの一本締めでお開きとなりました。



お知らせ

◆国際交流フェア開催!!◆

- ・日時 平成16年11月7日(日) 11:30～15:30
- ・会場 学習院沼津游泳場
- ・参加費 無料
- ・内容 世界各国の文化紹介
(展示・試食・舞踊)

*参加ブース募集中！

*前日及び当日の運営を手伝ってくれるスタッフも募集中！

◆コーカサス青年ホストファミリー募集◆

コーカサス地域振興(中小企業振興)グループ15名の青年が来沼します。

- ・受け入れ期間
平成17年2月1日(火)～8日(火)
 - ・ホームステイ
2月4日(金)～6日(日) 2泊3日
- あなたも
ホストファミリーをしてみませんか？

◆第13回英語&日本語 スピーチコンテスト◆

日本人と外国人のスピーチを
聞いてみませんか？

- ・日時：10月17日(日)午後1時～4時
 - ・場所：沼津市立図書館4階 視聴覚ホール
1. 英語の部
 2. 日本語の部
 3. 協会派遣留学生によるカラマズー留学報告
 4. 結果発表・表彰

日本人と外国人(インド・オーストラリア・韓国・中国・ニュージーランド・マレーシア・ラオス)の皆さんのスピーチを是非聞きに来てください。日頃感じていることを日本人は英語で、外国人は日本語でそれぞれが熱く語ります。コンテスト終了後、出場者との交流会も予定しています。

※事前申し込み不要・入場無料